

■研究推進委員会 2023 年度 活動報告書

提出日：2024 年 4 月 2 日

名 称	公益社団法人日本造園学会風景計画研究推進委員会
委員長	氏名（所属）：伊藤弘（筑波大学）
幹 事	氏名（所属）：矢澤優理子（東京大学） 連絡先（e-mail アドレス）：yyuriko@csis.u-tokyo.ac.jp
その他 構成員	町田怜子（東京農業大学） 松島肇（北海道大学） 上田裕文（北海道大学） 温井亨（東北公益文科大学） 入江彰昭（東京農業大学） 小島周作（東京農業大学） 小林昭裕（専修大学） 高山範理（森林総合研究所） 田中伸彦（東海大学） 高瀬唯（茨城大学） 古谷勝則（千葉大学） 寺田徹（東京大学） 渡部陽介（清水建設技術研究所） 松井孝子（プレック研究所） 橋本慧（株式会社 R. project） 山本清龍（東京大学） 上原三知（信州大学） 水内佑輔（東京大学） 村上修一（滋賀県立大学） 武田重昭（大阪公立大学） 渡邊貴史（長崎大学）
今年度 活動報告 成果	1. 2023 年度日本造園学会全国大会ミニフォーラム開催 2023 年度全国大会企画フォーラム「風景計画の実践—人と空間と DX」では、近年台頭が著しい空間情報技術やビッグデータ、AI などの新たな技術を、どのように風景計画に「学」として組み込み、「術」として実践していくかという視点から、風景計画学の将来や可能性を展望した。DX を用いた風景計画の実践と、過去の学問領域で蓄積されてきた風景計画の計画論のレビューに関する話題提供をいただいたうえで討議を行い、DX をふまえた人と空間の関係を紡ぐ方策等について様々な意見が挙げられた。フォーラムには学生や実務者にもご参加いただき、今後の風景計画や風景づくりの実践について活発な議論がなされた。 【フォーラム内容】 趣旨説明：伊藤弘・水内佑輔 話題提供 1（DX 事例）：日置佳之（鳥取大学農学部） 話題提供 2（DX 事例）：一言太郎（ニューラルグループ株式会社） 話題提供 3：景観評価技術の歴史的展開：斎藤馨（東京農業大学地域環境科学部） 「総合討論」 2. 「風景計画研究」発刊

「風景計画研究」第8号を2024年3月に発行した。

3. ランドスケープ研究にて「やさしい風景計画」を連載した。
昨年度からランドスケープ研究に連載している「やさしい風景計画学」を本年度も継続して投稿した。2年目となる本年は、風景計画における課題抽出、目標像の評価・共有、課題の現状把握、計画策定の4つのテーマについて、研究者・実務者からの報告がなされた。